

平成25年度市民討議会提言内容の進捗状況一覧表
(平成26年度末現在)

討議 テーマ1	子どもと大人が上手に関わり合うには		
提言	子どもと大人が上手に関わり合うために、子ども大人との距離感を縮め、一緒に参画できるしくみを作り上げていくことを求めます。		
詳細	進捗状況	関係部署	
大人から子どもにあいさつの大切さを教えるために、スタンプカードを用いたあいさつキャンペーンなどを利用した啓蒙活動を望みます。	平成25年度から7月1日と10月15日を「挨拶で絆の日」に指定し、市内一斉あいさつ運動を実施しています。登園、登校時に地域の人などにあいさつを実施しています。また、児童館・児童センターではあいさつの大切さを指導しています。	子ども支援課、教育推進課 (終了)	
地域の大人と子どもと一緒に関われるよう、各種イベント(ラジオ体操、昔のあそび、おもちゃ修理、読み聞かせなど)やボランティア活動(清掃活動等)との橋渡し等を市が積極的に行っていくことを望みます。	保育園や幼稚園、児童館・児童センターにおいて、畑づくりや昔のあそび、大正琴、おもちゃ病院、読み聞かせ、お祭りなどを行う際に、地域の方の協力を得て一緒に活動しています。市立公民館などでは、ラジオ体操、昔あそび、読み聞かせなど地域の大人と子どもが交流できる各種イベントを開催しています。また、市民ボランティアの皆さんが地域清掃や地域交流イベントなどの運営に積極的に参画しています。	子ども支援課、文化スポーツ課 (終了)	
大人と子どもが安心して集えるような施設(整備不良のない公園等)を望みます。	職員による公園パトロールを毎週火曜日に、専門家による公園遊具点検を1回実施し、点検により発見された不良個所の修繕をしました。また、平成26年度は共栄公園の複合遊具の更新を実施するなど、策定した都市公園の設備の長寿命化計画にのっとりながら施設整備をします。	緑化公園課 (終了)	
安心して利用できる施設を活用した交流の機会(多治見ホームステイ、老人ホーム慰問等)を創出していくことを望みます。	保育園や幼稚園、児童館・児童センターは、地域の福祉施設の慰問などの交流活動を行っています。また、宿泊研修施設「三の倉市民の里」では、青少年団体や地域団体、親子などが、自然環境を生かしたさまざまな活動を通じて交流を深められるよう各種イベントを行っています。	文化スポーツ課、子ども支援課 (終了)	
討議 テーマ2	子どもに「たじみ」を好きになってもらうには		
提言	子どもに「たじみ」を好きになってもらうために、子どもが安全に楽しめる環境を整備するとともに、多治見の魅力を積極的にアピールしていくことを求めます。		
詳細	進捗状況	関係部署	
子どもが安全に楽しめる魅力的な施設(娯楽施設や商業施設等)の誘致を望みます。	市には主要な道路沿いに大規模用地がありませんので、大型ショッピングモールなどの誘致は難しい現状です。しかし、まちを魅力的にするために、JR多治見駅を中心とした市街地の「賑わい」や「活力」を創出することに取り組んでいます。駅の北側では小規模な店舗や飲食店などの商業施設の立地を誘導し、南側では既存の市街地を再度、整備する中で人が集うことができる施設を誘致するよう働き掛けや検討を行っています。	企業誘致課 (終了)	
老朽化した施設(ガードレールや歩道橋等)の補修等による町の美化を望みます。	市道の施設を適切に管理するため、毎年施設の維持・補修を行い、安全確保と美化に努めています。平成25年度は姫町と明和町地内の歩道橋2箇所を補修しました。	道路河川課 (終了)	
多治見には修道院や永保寺など素晴らしい財産がたくさんあります。子どもボランティアを育成するなど広報の仕方を見直し、多治見の魅力を強くアピールしていくことを望みます。	現在は既存のボランティアガイドが市内の観光名所の案内を行っています。子どもがボランティアガイドをすることは交通手段などの問題が多いのが現状ですが、市立公民館などでは、地域交流イベントで小中学生ボランティアの活躍の場を提供し、地域への愛着心を育てています。また「たじみ子ども会議」では市の節電対策を体験するなど、自分たちのまちについてさらに理解を深める機会となっています。	産業観光課、文化スポーツ課、くらし人権課 (終了)	
子どもが安全に安心して、多治見を移動できるような自転車専用道路の整備を望みます。	平成25年度に策定した多治見市総合交通戦略に多治見駅周辺地区の歩行者自転車道の整備を位置づけており、ネットワーク計画を策定し整備を進めます。	都市政策課 (終了)	

<p>討議 テーマ 3</p>	<p>子どもが安心して生活できる地域にするには</p>	
<p>提言</p>	<p>子どもが安心して生活できる地域にするために、安心、安全のためのセーフティネットが必要だと考えます。そこで様々な観点からのセーフティネットの構築を求めます。</p>	
<p>詳細</p>	<p>進捗状況</p>	<p>関係部署</p>
<p>子ども達にとって安全な環境作り(歩車道の分離、街路灯の設置、樹木の適正管理、水飲み場の設置、ききょうバスの子ども無料化等)を望みます。</p>	<p>平成25年度は、歩行者の安全を図るため交差点や道路のカーブ部分にガードパイプを108m設置しました。夜間の安全確保のため要望個所に防犯灯を67基設置し、道路環境の向上のため老朽化した街路樹(高木56本)を植え替えました。また、パトロールで発見した危険木の剪定や伐採を随時実施しました。ききょうバスについては、運賃収入とバス事業者への欠損補助金で運行しているため、子ども無料化は困難です。</p>	<p>道路河川課 緑化公園課 都市政策課 (終了)</p>
<p>子ども達が安心して生活できるよう、見守り隊組織の充実や『子ども110番の家』の見直し等を行い、地域全体で子どもを守るような仕組み作りを望みます。</p>	<p>小学生の登下校時には「スクールガードリーダー」を配置するなど、子どもを犯罪から守る取り組みを進めています。また、まちづくり市民会議や交通安全協会による見守りなどと連携して地域での取り組みを支援していきます。</p>	<p>教育推進課 (終了)</p>
<p>危険予知訓練(大声をあげる練習等)、危険個所のマップや防犯ブザーの配布など防犯対策を望みます。</p>	<p>小学校入学時、防犯ブザーやホイッスルなどを配布しています。また、多治見警察署員等による防犯や防災に対する指導、教育を行っています。</p>	<p>教育推進課 (終了)</p>
<p>討議 テーマ 4</p>	<p>私たちは地域の子どもを健全に育てるために何をしたらよいでしょうか</p>	
<p>提言</p>	<p>私たちが地域の子どもを健全に育てるために、以下が必要だと考えます。そして、これらに対する積極的な支援を求めます。</p>	
<p>詳細</p>	<p>進捗状況</p>	<p>関係部署</p>
<p>大人が得意分野を活かして子ども達に様々なことを伝えられる仕掛け(楽器や書道などの道具の貸し出し、寺子屋、カウンセラー等)の充実を望みます。</p>	<p>地域ボランティアによる指導については、お礼の気持ちとさらなる充実を兼ねて、図書カードをお渡しするなどの支援をしています。小学校区で組織されている青少年まちづくり市民会議では、さまざまなイベントで世代間交流を図っています。</p>	<p>教育推進課 (終了)</p>
<p>各種イベント(課外授業や職場体験等)を充実させることで、大人も子どもも必要なことが学べるような仕組み作りを望みます。</p>	<p>中学校では校区を中心とした職場体験や作陶指導などを通じて、地域とのふれあいや誇りを持つことができるような授業を進めています。</p>	<p>教育推進課 (終了)</p>
<p>親子間を含めた大人と子どものコミュニケーションを活発にするために、事例集(褒め方、見守り方等)を発行するなどの積極的な啓蒙活動を望みます。</p>	<p>子どもがまちづくり、市政などに意見を表明し、参加する機会のひとつとして、年1回たじみ子ども会議を開催しています。平成25年度は夢や戦争について話し合い、大人は子どもの発言を尊重した上で、経験談や考えなどを話しました。大人が子どもの意見をしっかり受け止め、意見に対する回答を子どもに行う体制を進める必要があります。また、親育ち4・3・6・3たじみプランによる活動をモデル校区を中心に進めており、親育ち通信を発行するなど取り組みや理念の周知を図っています。</p>	<p>くらし人権課、教育推進課 (終了)</p>
<p>子どもが健全に育つためには、子育て環境の整備も重要です。託児所や保育所の充実、保育料の補助や小児医療補助の充実などのほか、困った時の相談窓口を設置するなどより子育てがしやすい環境の整備を望みます。</p>	<p>子育て環境の整備については、多治見市子育て支援会議などで適宜検討し充実を図ります。相談対応として家庭児童相談員などの配置や、子育て情報誌による情報提供も行っています。</p>	<p>子ども支援課 (終了)</p>